

第 1 回 (2015 年 9 月 18 日)

☆イントロダクション

授業の概要についての説明の後、「社会学とは何か？」について講義があった。

社会学とは何か？

1) 社会学の研究対象は、赤枠の範囲である。

	もの	こと
観察可能 (observable)	リンゴ、でんしゃ etc. = 質量のあるもの	家族、組織、コミュニティ、自殺、少子化 (落下という現象)
観察不能		価値、信念、規範、信頼、 <b>権力、お金の力</b> (重力、電磁力、強い力、弱い力)

( ) 内は、物理学での例。

社会は「もの」ではなく、「こと」である。

→ 観察可能な現象 (たとえば家族) の下にある原理 (様々な「力」) を考える

2) 社会学をテーマとしてみると、以下の二つがあげられる。

○ 社会問題 (「社会の問題」) … 世の中に生じている様々な問題を個人の問題ではなく社会の問題として捉える。

つまり、「こと」のすべてが社会学の対象ではなく、「社会の問題」となって初めて社会学の対象になる

社会学は課題解決志向も含む。政策立案や社会一般へのアドボカシー



○ 「社会という問題」 … 社会はどのようにしたら成立する / しないのか  
どのような「観察不能な力」が働いているのか

\*\*\*\*\*

☆ 課題：「社会的想像力」について、具体的に即して、深く考えること

配布プリント ( 'The Sociological Imagination' by C. Wright Mills ) を読んだ上で、課題  
を用紙に書いて提出。来週 ( 第 2 回 ) それを基に議論する。